



ようやく草木萌え出る季節になりました。寒さがやわらぎ、心も体もほぐれやすくなったでしょうか。天気の良い日は、グリーンスタッフと庭先の散歩などいかがですか。適度な日光浴は骨を丈夫にする効果もありますよ。ぜひスタッフと春の空気を一緒に吸って、気分転換をしてくださいね。

今月もご利用者様から続々と素敵な写真が届きました。皆さんの生活が充実したものになるよう、心の通ったサービスをご提供していきます。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

グリーンからハッピーニュース発信！

訪問先は、ご本人らしさで溢れています。

趣味や特技、思い出話を通して信頼関係を築いていきたいと考えています。



(左から)
【高崎・H様】オシャレが大好きなH様。コシノヒロコさんがデザインしたコートを披露してくださいました。ファッションショーに行って購入した一点物だそうです。メイクもネイルもいつも完璧なH様、ファッションもやはりハイセンス！とてもお似合いです。

【前橋・O様】手芸が大得意のO様、雛祭りの作品が完成しました。何種類も作ってプレゼントもされています。早くて綺麗な仕上がりは、もはや職人レベルです。端午の節句作品も楽しみ～♪

【前橋・Y様】3月よりご利用開始いただきました。奥様が作った鞠細工をご紹介します。使わなくなった布団の中綿を丸めて、リリアンで編みくるんであります。すべて一点物。コロんとしたフォルムが可愛らしいです。奥様、みんなで訪問バックにつけています。ありがとうございます！

【前橋・Y様】お孫さんが作成した折り紙。一般的な折り紙から、こんなにたくさんの恐竜が生まれるなんて…細部までリアルに再現されています。手先が器用で羨ましいですね。恐竜以外の作品も、ぜひ見たいです。投稿、お待ちしております！

我が家のアイドルご紹介♪

訪問は素敵な出会いであふれています。

【前橋・K様】長女さん宅の飼犬ジャック。4月27日に2歳のお誕生日を迎えます。いぬ年齢では20歳なので、少し遅めの成人式ということで、袴を召していらっしゃいます。K様とのツーショットもいただきました。お利口で従順なジャックにメロメロだそうです。ぱっちり目が可愛い！ハンチングとアラン柄セーターをサラッと身に着けるK様もキマってます。



※写真の掲載はご本人の許可を得ています。



産休・育休中だったPT高草木が3月中旬より復帰しました！愛娘の桜ちゃんは、すくすく育っています。先日、お婆ちゃまと写真を撮りました。美女トリオです。二児のママになってパワーアップしたPT高草木。しばらくは時短勤務となりますが、たくさんの方との出会いを楽しみに、また頑張ります！よろしくお願ひします。

グリーンは、医療専門職が「家で暮らす。」を応援します。

グリーンには、看護師、リハビリ職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が在籍しています。それぞれの特性を活かしながら、様々な面から在宅生活を支援しています。

今回は、入院後、施設への退院を勧められたご利用者様の「在宅復帰エピソード」をご紹介します。

【前橋・H様・80代女性】

昨年秋まで週1回、リハビリサービスをご利用いただいていましたが、自宅で転倒し、腰椎圧迫骨折にて入院されました。

リハビリを受けて歩行器で歩けるまで回復したものの、慣れない病院生活で認知症が進行してしまいました。入院中は不穏行動も多くみられ、今年の2月に自宅退院ではなく施設入所を勧められました。

しかし、同居のご主人が、「コロナ禍で十分な面会も叶わないまま施設へ入るのは寂しい。どうかして自宅へ連れて帰りたい。」と切望。グリーンとしてもご主人のお気持ちを支持したい！と思い、自宅退院に向け準備を進めました。

ケアマネジャー様や入院先のソーシャルワーカー様と相談し、「退院直後2週間は毎日、1日2~3回」の訪問予定を組みました（特別訪問看護指示書*を医師へ依頼）。

主介護者となるご主人には、食事の内容やポータブルトイレ、おむつの使い方などを事前に説明し、必要な物品を購入していただきました。

またこれまでは布団で寝ていましたが、立ち座りが楽にできるよう介護用ベッドを導入しました。ベッドは「寝る時は転落しないよう低く」「おむつ交換の時はご主人が腰を痛めないよう高く」できるよう昇降式にしました。

更に、ご自宅に帰って来た時に、車から自宅内までの段差移動が安全に行えるか懸念がありました。コロナ禍のため退院前に病院のリハスタッフとご本人が自宅を訪問し動作を確認するホームチェックも行えませんでした。そこで、H様宅の写真を撮影し、病院リハスタッフとメールで意見交換をしました。入院中の身体機能について病院スタッフから事前に情報をいただくことで、退院後の生活がイメージしやすくなりました。

準備を整えて、いよいよ退院。

久しぶりのご自宅でしたが、ご主人や息子様に迎えられとても安心されたようでした。心配していた自宅内への移動もスムーズにできました。退院後、予定通り毎日、看護師とリハスタッフが訪問し、清潔援助や内服管理、リハビリテーションを実施しました。当初、ご主人がおむつ交換の際に腰を痛めてしまうハプニングもありましたが、ベッドの昇降機能を活用することで解消されました。そして、再転倒することなく、無事に2週間を過ごすことができました。

現在、訪問は週3回に減らし、看護師による体調確認とPT・OTによるリハビリテーションサービスを継続してご利用中です。また、生活リズムが安定してきたため、週1回、入浴とリハビリ目的にデイサービスを新たに導入し、休まず通所されています。

今回、自宅退院が難しいと思われたH様ですが、ケアマネ様や病院スタッフ様との連携、訪問看護制度の活用により、自宅退院が実現しました。そして、何より、ご家族の献身的な介護のおかげで、在宅生活を続けることができています。

退院調整や在宅支援にあたり、ケアマネジャー様や病院スタッフ様には大変お世話になりました。ありがとうございました。これからも関係者の皆様と協力しながら、一人でも多くの方の「家で暮らしたい」を応援できたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

*特別訪問看護指示書とは・・・

病気の急性増悪や退院直後で頻回に訪問サービスが必要な場合、医師が14日間の期限付きで出す指示書。期間中は医療保険を利用し、毎日、複数回の訪問サービスを受けることが可能。

退院3週間後、ご本人自ら「巻き寿司が作りたい」とご希望され、ご主人と一緒に作りました。とっても美味しそうな出来栄です！みるみるお元気になられて、本当に素晴らしいです。また、美味しいお料理ができれば紹介させていただきますね！

